

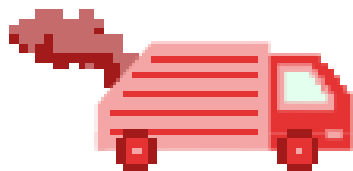
ごみを運ばず、燃やさず、資源化する

JOYCLE BOX

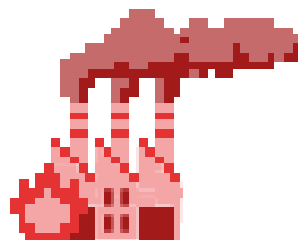
ゴミどうする？



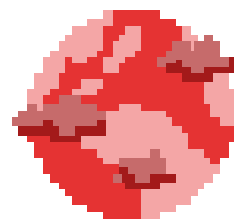
これまで



ハコブ

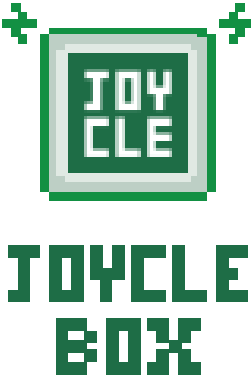


モヤス



チキュウカナシイ

これから



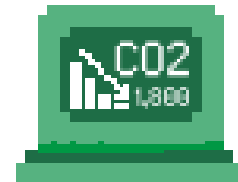
フンサンガタプラント



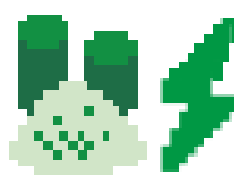
モヤサナイ



ハコバナイ



CO2サクゲン



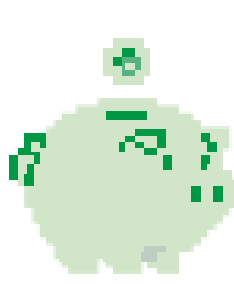
シゲン/エネルギーウマレル

求む、『資源と喜びの循環』に挑戦する同志

ごみを運ばないでよい世界。ごみを燃やさないでよい世界。
ごみが厄介者でない世界。ごみが喜びになる世界。
ごみという名詞が存在しない世界。
そんな世界を、いっしょにつくりませんか。
わたしたちはごみ問題の「当たり前」に挑戦し、
ごみを運ばず、燃やさず、資源化することで
CO2 もコストも削減し、資源と喜びが循環する社会を創造します。
「JOYCLE BOX」でごみを資源に、アップサイクルの喜びを日常に。



チキュウヨロコブ



ヒトヨロコブ

JOYCLE

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、2015年9月の国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

Economy 1

廃棄物が 1 ～ 5 %に減容

- ・ 廃棄物を投入するだけで1～5%に減容し、無機資源になります。

Economy 2

駐車場 1 台分のスペースで設置可能

- ・ コンパクトな設計の熱分解装置のため、場所をとらず設置可能です。

Economy 3

電気のみで稼働

- ・ 石油等の燃料は一切使用しません。

Ecology 1

臭いも煙もほとんどありません

- ・ ダイオキシンを無害化、臭いと煙もほぼ発生しません。

Ecology 2

音も静かで夜間でも利用可能

- ・ 音もほぼ発生しないため、近隣への影響もありません。

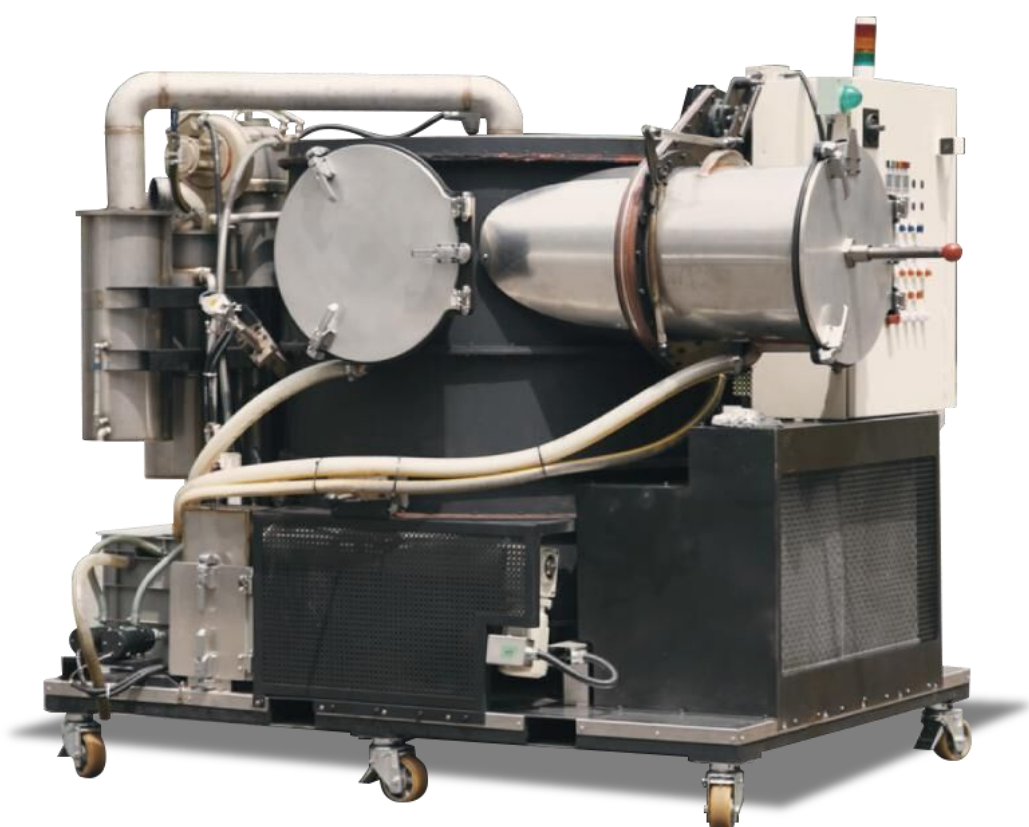
Ecology 3

CO₂ 排出を削減

- ・ 廃棄物の排出元に装置を設置し、オンサイト処理することで、運搬によるCO₂ 排出量の削減が可能です。

JOYCLE BOX

燃えるごみ 45 L×20 袋を投入可能。
約5 時間で無機資源化。



投入可否

○ 処理ができる物



紙オムツ



紙類・布類



生ごみ



プラスチック



枯葉・枝木

× 処理ができない物（液体・金属）



金属製品



ガラス製品



陶器



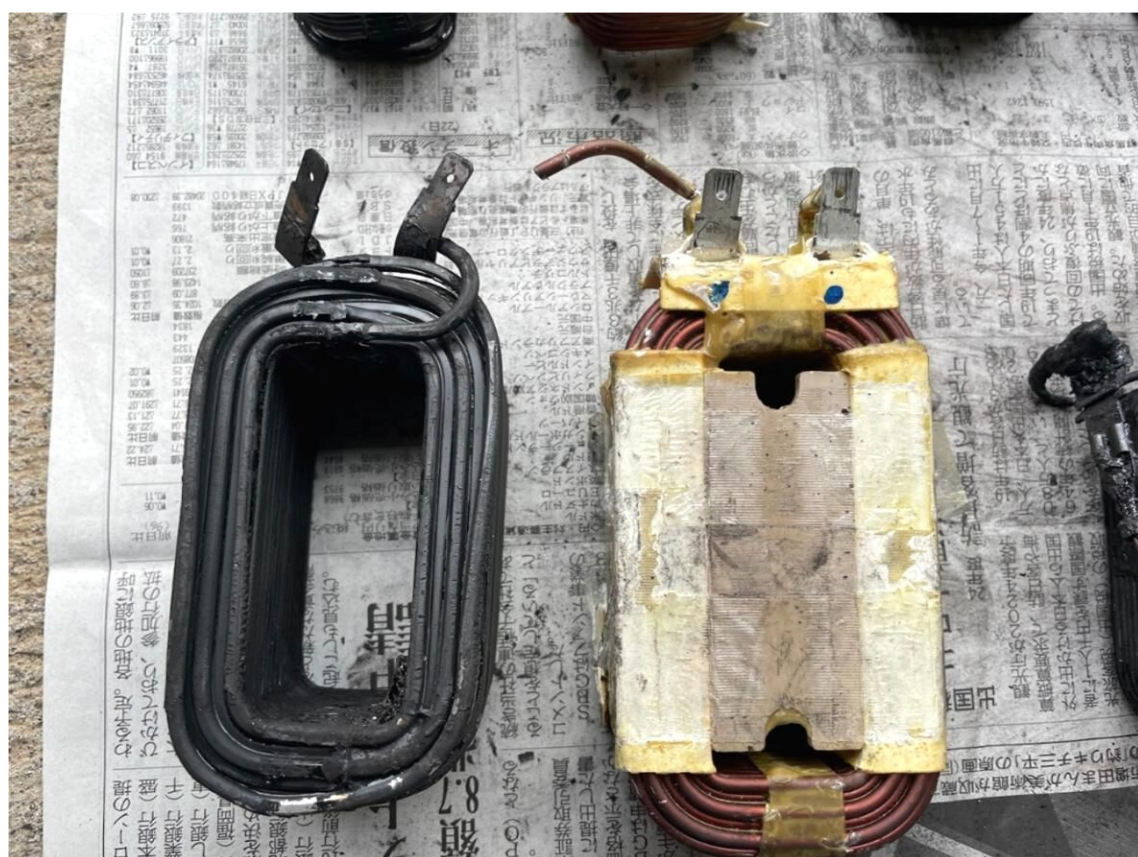
貝殻

JOYCLE BOXにおける実証実験結果

① デニム生地 の減容・炭化に成功



② トランスコイルの絶縁紙除去・単価100円/kg向上に成功



③ 鳥獣（鹿）の減容・炭化に成功

